プレスリリース

2021年7月

KYOTO STEAM
－世界文化交流祭－

アート×サイエンスIN京都市動物園
アートで感じる？チンパンジーの気持ち

フェスティバル本番に向けた試行の様子を報道関係者の皆様に限定公開します！

作家の映像作品に反応するロジャー

本事業は、遺伝的・進化的にヒトに最も近い動物である**チンパンジーは、ヒトと同じようにアートを楽しむことができるのか**、という問いに向かって、2018年にスタートしたプロジェクトです。

４年目を迎える今年も、アーティストと研究者が協働し、アート×サイエンス・テクノロジーをテーマとした新しい文化芸術のフェスティバル「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－」において、アート作品とチンパンジーの様子を展示するため、プロジェクトを進めています。

この度、その展示に向けて、４つの映像を用いた試行を実施しますので、お知らせいたします。取材を希望される方は、土・日・祝日を除いた**希望日の３日前まで**に、別紙申込書に必要事項をご記入のうえ、KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会までE-Mail又はFAXにてお申し込みください。

＜試行概要＞

試行日程：7月20日・21日・24日・26日・27日・28 日・29日・8月4日（合計8日間）
※急な日程変更がある可能性もあります。予めご了承ください。
時　　間：11時45分～12時45分
人　　数：1日計4名まで（１社2名まで）
場　　所：京都市動物園　類人猿舎　屋内展示場３
備　　考：研究者・出展作家・チーフディレクターへのインタビューをご希望の方は、別紙申込書にてお知らせください。

申 込 先 ：KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会事務局
（担当：皆越・草川・上村）
TEL：075-752-2212　FAX：075-752-2233
Email：info@kyoto-steam.org

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1日の取材人数を限定させていただきます。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1
京都市国際交流会館内
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233
Email：info@kyoto-steam.org

京都市

文化庁
令和３年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業

kyoto city zoo 京都市動物園

公式WEB

本プロジェクトのみどころ

アーティストと様々な研究者による共同制作
様々な専門性をもつ研究者とアーティストが互いの創造力と知識を駆使しながらコラボレーションし、チンパンジーとヒトのための新たな作品を制作します。

世界初！チンパンジーのためのインタラクティブ（双方向）アート
2016年にメルボルン動物園（オーストラリア）にてオランウータンを対象にMicrosoftのKinectを用いた実験が行われており、同種のプロジェクトとしては国内初、チンパンジーを対象としては世界発の試みとなります。

アートを介したチンパンジーとヒトのコミュニケーション
共通言語をもたないチンパンジーとヒトが、インタラクティブ（双方向）な作品を通じて、新たな形のコミュニケーションに挑戦します。

今年度の活動概要

動物ファーストに根差し、
アートを通じた環境エンリッチメント※に取り組む

令和3年度は、チンパンジーの反応が大きかった複数の素材や映像を生かし、**複合的なアプローチを加えたインタラクティブなアート作品の完成を目指します**。また、サイエンティストらによる実験結果の発表を通じて、飼育動物のための「アート×サイエンス・テクノロジー」の可能性を、子どもから大人までわかりやすく伝え、本取組の成果・意義を広く発信します。

【試行のポイント・ねらい】

- **アート作品を通じた**コミュニケーションの可能性を探ること
- チンパンジーの自然で多様な行動が引き出せること
- 来園者にも、チンパンジーが楽しんでいる様子がわかること
- チンパンジーの行動の自動解析（正しくデータ収集できること）
- 動物園（研究者・飼育員）にとって、施設に**取り入れやすく扱いやすいシステム構築のきっかけとなる**こと

※環境エンリッチメント(environmental enrichment)とは、動物福祉の立場から、飼育動物の「幸福な暮らし」を実現するための方策のこと。
本プロジェクトでは、チンパンジーの飼育環境が、野生のチンパンジーと比べると、狭く、変化の少ないものになりがちであることから、飼育環境にアートを取り入れることで、豊かな環境を生み出す試みを行っています。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1
京都市国際交流会館内
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233
Email：info@kyoto-steam.org

京都市

文化庁
令和３年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業

kyoto city zoo 京都市動物園

公式WEB

試行ステップ

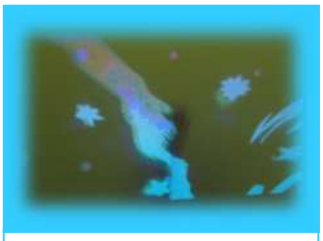
モチベーションのシフトを映像で評価できるか？

- 主体性という観点からのモチベーションシフトを評価する
- 動物にとって大して重要でない情報収集は若い個体が中心で、年齢が高くなると行われなくなる
- 動物にとって有益な情報についての収集は年齢を経ても興味は持続する
- 一方で、有益な情報でないほど純粋な「楽しい」を引き出せる可能性

４つの映像を順番に呈示して、チンパンジーの反応を比較する。

チンパンジー
（同種の情報）

その他の動物の情報
（異種の情報）



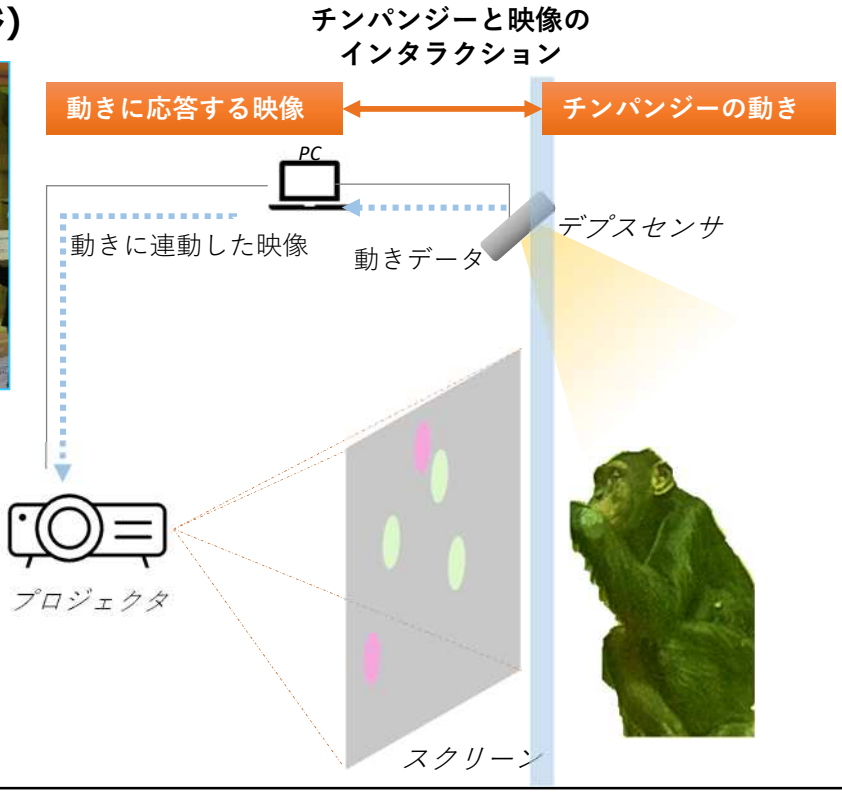
抽象的な動物の映像
※アーティスト作成

映像なし

情報価は下がる

（実験セットアップイメージ）

スクリーンに投影する映像は15分ごとに変更。
8日間の実施を予定



KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1
京都市国際交流会館内
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233
Email：info@kyoto-steam.org

京都市

文化庁
令和３年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業

kyoto city zoo 京都市動物園

公式WEB

昨年度の実施概要

【内容】

過去2年の成果として、**若いチンパンジーが食べ物の報酬なしに自発的にインタラクションする**ことがわかったものの、**どのような要素がチンパンジーの興味の持続に関わっていたのか**ということはわかっていませんでした。そこで、チンパンジーの視覚と触覚を刺激する複数の素材と映像によるアプローチを試みました。

具体的には、くしゃくしゃに丸めたクラフト紙、クネクネ消防ホース、蛇腹段ボール、布、紙袋等や、作家の過去の映像作品、野生のチンパンジーが映った映像、実写映像とアニメーションを組み合わせた映像など、複数の素材と映像をチンパンジーに触れさせてみました。

【結果】

「変形するもの」「やわらかい素材」「構造が複雑なもの」「野生チンパンジーの映像」という要素がチンパンジーの興味を引くことがわかりました。また、副次的な成果として、観覧通路からガラス面に映像を投影する仕組みや、影絵を使ってヒトとチンパンジーのコミュニケーションを図る実験は、動物園でも取り入れやすく展開がしやすいものであったため、今後の研究者の実験アイデアとの相乗効果に期待を持てるものとなりました。

ガラス面に映像を投影する実験

影絵でチンパンジーの反応をみる実験

アートで感じる？チンパンジーの気持ち　ドキュメンタリー（2020年度）

昨年度実施した4回の試行から展示・トークツアーの様子、アーティスト等へのインタビューをまとめた映像をご覧いただけます。（約７分半）

https://youtu.be/pXU2jBWOx04

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1
京都市国際交流会館内
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233
Email：info@kyoto-steam.org

京都市

文化庁
令和３年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業

kyoto city zoo 京都市動物園

公式WEB

プロジェクト・メンバー

坂本英房
京都市動物園園長／KYOTO STEAM-世界文化交流祭-実行委員会チーフディレクター

青木 陵子 ＋ 伊藤 存
アーティスト

山梨 裕美
京都市動物園主席研究員

吉田 信明
公益財団法人京都高度技術研究所主任研究員

狩野 文浩
Junior group leader、 The Center for the Advanced Study of Collective Behavior (CASCB)、 University of Konstanz、Konstanz、 Germany

一方井 祐子
東京大学国際高等研究所 カブリ数物連携宇宙研究機構特任研究員

岩城 覚久
近畿大学文芸学部文化デザイン学科准教授

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－について

「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－」は、「KYOTO CULTIVATES PROJECT」の理念（京都は耕す、育む、磨く）を体現し、京都賞が先駆的に示してきた人類の未来への願いとも共鳴した、アート×サイエンス・テクノロジーをテーマに開催する新しい文化・芸術の祭典です。

※STEAMとは…Science（科学）、Technology（技術）、 Engineering（工学）、
Arts（芸術）、Mathematics（数学）

京都市動物園について

京都市動物園は、明治36（1903）年4月に開園した、全国で2番目に歴史のある動物園であり、市民の皆様から多額の寄付が寄せられ、全国で初めて市民の手によって創設された動物園です。

近年では、「近くて楽しい動物園」を目指し、約7年間にわたる施設整備を進め、平成27年11月にグランドオープンしました。同園では、京都市と京都大学との間で結ばれた「野生動物保全に関する研究・教育の連携協定」をはじめとして、様々な大学や研究機関との連携協定を結び、協働しています。

そして、現代の動物園にとって重要な役割である研究や教育を基幹事業として位置付け、平成25年に研究と教育を担う「生き物・学び・研究センター」を全国に先駆けて設置しました。種の保存や動物福祉に関する研究を推進し、先進的な教育サービスの提供を目指しています。

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会
〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町2番地の1
京都市国際交流会館内
TEL.075-752-2212　FAX.075-752-2233
Email：info@kyoto-steam.org

京都市

文化庁
令和３年度
文化庁 文化芸術
創造拠点形成事業

kyoto city zoo 京都市動物園

公式WEB

【別 紙】

KYOTO STEAM－世界文化交流祭－実行委員会　宛
E-Mail：info@kyoto-steam.org　FAX：０７５－７５２－２２３３

アート×サイエンスIN京都市動物園　アートで感じる？チンパンジーの気持ち
映像を使った試行　取材申込書

社名 （掲載・放送予定媒体名）	（媒体名：　　）
部署名	
取材者氏名（※１）	
電話番号	
メールアドレス	
当日の緊急連絡先 （代表者の携帯番号）	
来場予定時間（※２）	
関係者等への インタビュー	☐ 有　・　☐ 無
	有の場合，インタビュー・撮影対象者（決定している場合） ☐実行委員会 ☐参加者 ☐チンパンジーの撮影 ☐その他 （　　）
	インタビューの内容（決定している場合） （　　）
掲載日，放送日 （決定している場合）	

※１：新型コロナウイルス感染症対策として参加者を把握する必要があることから，必ずお越しになる方全員のお名前を記入ください。
※２：開始時間以降に来場される場合は，到着時間に合わせて，事務局スタッフが正面エントランスに待機いたします。